

なろっこだより

第18号 2025年2月7日(金)

【学校教育目標】

全力・協同・自立・自主

南国市立奈路小学校

TEL 088-862-0161

1月16日(木)参観日・学級懇談会 参加ありがとうございました！

1月16日の参観授業と学級懇談会への参加ありがとうございました。各学級の授業の様子はいかがでしたか？1年生は、ずいぶんとしっかりし始めました。2年生は、もうすぐ3学級での複式授業となります。その準備として学習リーダーによる学習もでき始めました。3学級は、自分たちで企画した「10才を祝う会」でしっかり発表し楽しんでいました。4学級は、さすがです。落ち着いた授業を披露していました。

また、5・6年生向けには、北陵中学校の田中敬子教頭先生が学校説明を来校して行ってくれました。中学校の様子が分かったと思います。



フリートーク集会で、2年生・1年生が司会デビューしました。

1月23日(木)に2年生がテーマ「すきなそとあそびはなに？」で、司会を行いました。まとめは、「今日の意見では、サッカーが一番多くて、やってみたい事はサッカーと縄跳びです。理由は、「サッカーは最近やっていないけどゴールを決めたらうれしいからです。縄とびは二重とびがどんどんできるようになるから。」でした。

1月30日(木)には、1年生がテーマ「どうぶつえんのどうぶつとやせいのどうぶつは、どちらがしあわせですか。」で、意見として、「どうぶつえん」「やせい」そして、「どちらも」が出ました。まとめは、「どうぶつえんが多くでした。」とまとめてくれました。

1年生も2年生もしっかり、司会ができていました。よく頑張りました。また、記録としてお手伝いしてくれた5・6年生の皆さんありがとうございました。

これからも、色々なテーマで自由な意見を交換していきましょう。



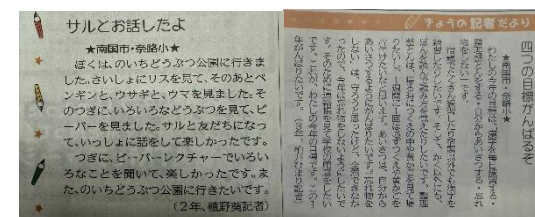
たちばな幼稚園のお友達が来校！

1月30日(木)には、フレンドリー交流でたちばな幼稚園の年長さん10名が奈路小学校に来てくれました。小学校の児童とふれあうことで、入学へのあこがれや期待を持ってもらうための時間でした。1・2年生は、おもてなしを計画して、なろしょうがつこうクイズ・手作りおもちゃでの交流・一輪車の披露やゲームなど盛りだくさんの内容で楽しく交流ができました。素晴らしいおもてなしでしたね。



読もっか こども高知新聞に掲載！

令和7年1月12日(日)に2年 植野 葵くん「サルとお話したよ」の記事と3年 柏井ひまりさん「四つの目標がんばるぞ」が掲載されました。



3・4年生 七草がゆに挑戦!!

3・4年生が「七草がゆを作ってみたい」との声から始まった七草粥づくり。まず、マリ先生の畑で「七草とり」、そしておかゆづくりに挑戦しました。あきこ先生とマリ先生の指導のもと、三つの味付けで絶品料理でした。3・4年生、おいしかったです。ごちそうさまでした。



最近の校内での様子

令和7年1月10日(金)

雪が積もりました。全校で少し雪遊びをしてから授業に入りました。「〇〇よろこび、庭駆け回り」状態で楽しんでいました。



令和7年1月16日(木)

朝、西原盛子さんが、1年生といっしょにダンシング。楽しかったです。



令和7年1月20日(月)

全校体育で「なわとび大会」の説明を行い、取り組みはじめました。20分休みには、2チームに分かれて、長縄とびに取り組んでいます。大会が楽しみです。



令和7年2月2日(日)

高知新聞でこども小砂丘賞の入賞発表があり、

【最優秀賞】6年東岡由眞くん、【優良賞】5年白崎拓未くん・1年東岡慶記くんが入賞しました。東岡由眞くんに1月31日(金)の奈路っ子タイムで全校に向け朗読をしてもらいました。のこり、2か月思いっきり小学校生活を楽しんでください。小学校6年間を振り返った作文は、裏面に掲載していますのでご覧ください。



「一人ぼっちのぼくを支えてくれた仲間たち」

南国市立奈路小学校 六年 東岡 由真

「奈路小学校に見学に行ってみるかえ？」

年長のぼくに、父が言った。当時、ぼくは人数の多い学校か、小規模の奈路小か、悩んでいた。オープンスクールや学校行事に参加し、家族で話し合った上で、「もし、ぼく一人でも、奈路小学校に行く。」と決断した。正直、不安もあったけど、他の学年の友達をたくさんつくりたいと、楽しみな部分もあった。

入学式。一年生が座る席は、たった一つしかなかった。体育の一番前にぼつんと置かれたイスを見て（やっぱりぼくだけなんだ。）と思った。でも同時に（ぼく一人のためにみんなが用意してくれた入学式だ。）と思って、お祝いの言葉を聞いていた。入学式の終わりに、全校児童の一人一人がぼくの前に並んで「入学おめでとう。」「よろしくね。」「よく来てくれたね。」と言って、握手をしてくれた。

一年生の時から、ぼくは複式学級だった。しかも、一年生と二年生一人ずつだった。先生と三人で毎日過ごすうちに、家族のように親しくなれてうれしかった。

二年生になると、四人の一年生が来てくれた。後輩が四人もできてうれしくて、一人一人に寄り添ってあげられる二年生になりたいと思った。大切な仲間が増えて、学校生活がますます楽しくなった。

奈路小学校は、地域の方にたくさん関わってもらっていて、生活科の時間などに、よく地域へ見学に行かせてもらった。そこで、ぼくたちにたくさんの経験をさせてくれたおかげで、奈路の地域が大好きになった。

二年生のころまで、ぼくは特認でバス通学をしていたが、奈路にご縁があって、一家で奈路に引っ越してきた。これで正真正銘の奈路っ子になれた。地域の方から、「奈路に来てくれてありがとう。学校でがんばっているね。新聞にも載っていたね。」と声をかけてもらい、何だか親戚が増えたような気持ちになった。

三年生になった二学期のある朝、先生から四年生の女の子が転校してくると聞いた。男の子二人の中に女の子が一人で入ってきて、大丈夫かなと心配になったけど、少しずつ仲良くなり、ぼくにまた親友が増えた。先生に「君達三人は兄弟（姉弟）みたいだね。」と言われるほどで、ぼくもその通りだと思った。しかも、三人の名前のイニシャルがＹだったので、スリーワイと名付けられ、さらにきずなが深まっていった。そうして、親友であり、兄妹のように慕っていた先輩二人とのお別れがあっという間にやってきた。希望する中学校へ旅立っていく二人に、さびしさを胸がいっぱいになった。

それと同時に、ぼくは、今まで考えることがなかった自分自身について考えるようになった。自分は最上級生としてどう行動し、何をしなければならないのか。よくしてくれる地域の方や先生に、どのように応えたらいいのか。たった一人の六年生というプレッシャーを抱えたまま、ついに六年生になった。

今年もぼくは、全力で様々な行事に取り組んできた。一番心に残っているのは大運動会だ。児童会でスローガンを決めるときから、「今年はみんなで、ヨッシーのために最高の運動会にしよう。」を合言葉に、みんながぼくを支えてくれた。

運動会当日は、明け方まで雨が降り続き、体育館での開催となった。ぼくが一年生のとき以来で、思い切り走ることができないのは残念だったが、小規模校ならではの貴重な体験が二回もできた。体育館いっぱいには保護者や来賓、地域の方、卒業生があふれ、気合いが入った。今年入学した弟が、一年生を代表して開会の言葉を言う姿を見て、五年前の自分を見ているような気持ちになった。

全校で披露した一輪車演技は大成功し、運動会の終盤ごろには天気が回復し、マスト登りと赤白リレーは外で行うことができた。閉会式で終わりの言葉を言いながら、朝礼台から全校の顔を見渡した。そのとき、

「ぼくは一人ぼっちじゃない。全員仲間で、チーム奈路なんだ。」

と実感しながら、先輩から渡されたバトンを五年生につなぐ思いでメッセージを伝えた。

ぼくが入学して以降、新入生が増え、奈路小の人数は多くなったが、待ち望んでいた転校生は、とうとうぼくの学年には来なかった。同級生がいたらどうだっただろうと考えることは、今でもある。でも、今では全校がぼくの仲間になった。ぼくは奈路で、みんなで協力することの大切さを学ぶことができた。

小学校生活は、あと数ヶ月しかなくなった。ぼくは、残された時間で、お世話になった地域の方や下級生に少しでも恩返しをしていきたいと考えている。そして、中学校、高校での様々な経験を糧にして、自分にできることを見つけ、形にしていきたい。



地域の方から、「たった一人の入学式から、6年間の出来事と自分の想いが見事に描かれています。」との感想や入賞した3人への称賛の声が学校へ届けられています。